

子育てPJ 学習研修 放課後子ども教室の役割

○放課後子ども教室とは

放課後子ども総合プランに基づき、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動等を行う児童の居場所

○放課後子ども総合プランとは

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次世代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、文部科学省と厚生労働省が協力し、一体型を中心とした放課後児童健全育成事業及び地域住民等の参画を得て放課後等に全ての児童を対象として学習や体験・交流活動を行う事業の計画的な整備等を進める。

○法的根拠など

- ・文部科学省厚管轄の所が多い 実施主体は市町村の教育委員会、福祉部局等
- ・こどもの権利条約
- ・放課後子ども総合プラン
- ・児童館ガイドライン
- ・放課後児童クラブ運営指針
- ・その他マニュアル

○支援員の役割

- ・児童の発達支援
- ・児童が楽しみに来るようなプログラムの計画
- ・地域の方が関わってもらえるような行事の計画
- ・行事、プログラムの実施
- ・児童に対する公共環境のシステム化
- ・児童の意向等を聞きながら玩具等の環境整備
- ・学校と連携した教育支援
- ・児童、施設の安全管理 etc...